

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	清和大学（学部・学科等の課程）				設置者名	学校法人君津学園			
学部・学科等の名称等				認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況（令和４年度）			
学部	学科等	設置年度	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数
							実数	個別	
法学部	法律学科	平成6年度	190人	中一種免（社会）	平成18年度	156人	8人	7人	6人
				高一種免（公民）	平成18年度			5人	
				高一種免（地理歴史）	平成19年度			5人	
				高一種免（情報）	平成18年度			1人	
	入学定員合計			190人	合計		156人	8人	18人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、令和５年４月１日現在の名称・定員を記載してください。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数を記載してください。								

教職課程実地視察教員養成機関に対する講評

実地視察日：令和5年10月10日（火）オンライン

実地視察大学：清和大学

【全般的事項】

○教員養成に関する教育課程、教育研究実施組織等については、一部是正が必要な箇所はあるものの、全般的に基準を満たしており、良好に実施されている。引き続き、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

○教育活動の目標に「真心教育を実践できる教員の養成」を挙げているが、その目標を明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教職課程や教員組織がより一層充実したものとなるように今後も努めていただきたい。なお、教職課程の自己点検評価について丁寧な対応が行われていることがうかがえた。引き続き、自己点検評価の制度等を活用し、教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

2. 教育課程、履修方法及びシラバスの状況、教員組織

○一部の授業科目について教職課程コアカリキュラムを満たしているか判然としないものや授業科目名と授業内容があっていないものが見受けられた。シラバス等について、再度見直しを行うこと。

3. 教育実習の取組状況

○理論と実践の往還を実現するため、教育実習以外でも学生全員が学校現場で実習することとしている点は評価できる。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

○学生の基礎学力向上に向けて、1年生から4年間を通じ丁寧に教職指導を行っている点は評価できる。

○全学的な組織体制で、よりきめ細かく教職指導ができるよう、履修カルテのデータ化等について検討していただきたい。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

○学校インターンシップ等や教育委員会による出前授業など、近隣の教育委員会との連携体制が構築されていることが確認できた。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

○学生が ICT 活用能力を身に付けられるよう、教職課程の授業科目においてもこれに対応した授業内容・方法を検討することや、学内の環境も GIGA スクール構想を念頭に置いた整備等ができないか検討いただきたい。

7. その他特記事項

○貴学の法学部は高校情報の教職課程を設置していることや、「情報と法コース」があることなどから、当該学部が持つ情報に関する専門性を教職課程における授業内容・方法等にも活用できないか検討いただきたい。

○法学部としての専門性を持つ教師を輩出できるよう、教職課程の充実を検討いただきたい。